

令和 8 年度 5 月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【 会議名称 】 令和 8 年度 5 月期古賀市社会教育委員の会議

【 日 時 】 令和 8 年 5 月 22 日（金） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 0 0 分

【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 1 0 3 洋室

【 内 容 】 (1)社会教育団体への補助金について
(2)古賀市の社会教育の現状について

【 出席委員 】 園議長、安部委員、石川委員、梅谷委員、江口委員、大賀委員、倉掛委員、坂崎委員、藤田委員（以上委員 8 名）

【 欠席委員 】 橋爪委員

【 事 務 局 】 生涯学習推進課長、青少年育成課長、職員 2 名

【 傍聴者数 】 0 名

(配布資料)

・レジュメ

- ・資料 1-① 社会教育関係団体に対する補助金一覧
 - 1-② 古賀市 PTCA 連合会事業補助金交付要綱
 - 1-③ 古賀市スポーツ奨励補助金交付規則
 - 1-④ 古賀市少年の船事業補助金交付要綱
 - 1-⑤ 古賀市青少年育成事業補助金交付要綱
- ・資料 2 年間活動計画

1. 開会

2. 協議事項

- (1) 社会教育団体への補助金について
- (2) 古賀市の社会教育の現状について

資料 1-②、1-③について生涯学習推進課より説明。

資料 1-④、1-⑤について青少年育成課より説明。

(事務局)

社会教育団体への補助金について、ご質問やご意見をお願いします。

(倉掛委員)

PTCA 事業補助金についてですが、古賀市 PTCA 連合会の話し合いの中で課題が出されましたので、それを受けての要綱の変更ということでしょうか。1 校一律 3 万円ということですが、PTCA が休止状態の学校については、申請されていない学校もあるので、その分実績の金額が少ないということでしょうか。

(事務局)

役員会の中でのご意見を精査し、要綱を変更しました。学校の活動の中で補助金の対象となる事業が限られていますので、対象の事業で申請が出ている形になります。

(倉掛委員)

PTCA 事業補助金については、去年より増額されていますか。例えば、3 万円に満たない場合はオーバーしている学校に補填されることはありますか。

(事務局)

去年の予算は 30 万でしたので、増額しています。あくまでも 1 校 3 万円の範囲で実施していただきたいと思います。

(倉掛委員)

草刈りの費用を学校運営費から出している学校もありますが、PTCA 補助金で申請している学校もあります。環境美化は本来、学校施設管理費で対応すべきではないでしょうか。PTCA 活性化に直結する事業の活用が不十分だと思います。研修会を充実させるほうに PTCA 事業補助金を使ってほしいと思います。

(園議長)

今の意見は、運営に関わる問題と関連していますが、学校内で PTCA 予算の使い方に関する会議があります。その際に運営に関する協議も行われるのではないかと思います。江口委員は学校での状況についてはどうでしょうか。

(江口委員)

内部の運営に関しては、各学校が事業を申請し、許可が下りるかについては、生涯学習推進課での判断となります。

(事務局)

令和 7 年度は全体で 30 万円の予算の中で実績額が 24 万 6000 円ですが、11 校の小中学校のうち、9 校が申請しています。2 校は、PTCA 自体は存在しますが、補助金の申請が行われていない状況です。

(園議長)

特に、学校がどう補助金を活用するかどうか大きな問題であり、活用し忘れないようにすることが重要です。また、予算が補助対象経費の 2 分の 1 しか出ないため、例えば 5 万円がかかった場合、2 万 5000 円しか出ません。その理解が不足していると申請を忘れてしまうことにつながりますので、ここが課題だと感じています。

お金を引き出すこと自体は難しくないのですが、どのように活用するかという問題は市 P の会議の中にあると思います。一校 3 万円の上限が学校の規模によって異なるため、不公平感があるとの意見も以前にはありました。1 律 3 万円というのが適切ではないかと考えています。

(梅谷委員)

倉掛委員は PTCA 活動に関わっていると思いますが、倉掛委員から見た PTCA 活動が活性

化するためには、具体的にどうすればよいとお考えですか。

(倉掛委員)

補助金の趣旨としては、PTCA 活動を活性化するためだと思いますが、PTCA 自体が衰退しているため、草刈りだけでなく、再起動のために活用できるよう、市 P 連の会議の中で話し合いが必要だと思いました。

(坂崎委員)

小中学校と関わっていますが、実態としての PTCA 補助金の使い道は、燃料費、替え刃代と聞いていて、本来の補助金の趣旨にそぐわないと思います。環境を整備するためには学校の施設管理費が必要です。もう少し新しい事業のための活動や、学校の活性化が目に見える取り組みについても、もっと具体的に考えていく必要があると感じます。

(梅谷委員)

昔のことを考えると、まだ PTCA というよりも「PTA」といった表現が一般的でした。それは、広報活動や運動会の行政などに関わっていたからかもしれません。ただ、現在この活動自体が衰退しているのはとても懸念されることです。

(園議長)

研修事業では、みそ作りなどで活用していた事例もありますが、課題は一度手払いしなければならぬという所があります。また、予算の見積もりが難しく、3 万円全額もraitたいのに、実際にはそれが得られなかったというのが現状です。

(事務局)

今までは連合会からまとめて申請を受けて交付決定ができるという状況で、先生方の負担もありましたので、学校ごとに直接手続きできるよう、先に予算を交付しておいて、残れば清算して市に戻すように変更しました。

(倉掛委員)

少年の船事業は、燃料の高騰などもありますが、足りるのでしょうか。増額の申し出はなかったですか。

(青少年育成課)

参加費はスタッフが 45,000 円、参加者は 65,000 円と例年通りになっています。去年は、写真や DVD を販売して補い、歳入のバランスをとっていました。

(梅谷委員)

昔は団体の予算的なものは、まつりこがでバザーをして補い、それが団体の結束につながることもありましたが、今はそれが難しいと感じています。

(園議長)

少年の船の予算については、人数によっても変わってくるかと思いますが、参加者は最大何人ですか。人数に関わらず、この額が使えるということでしょうか。

(青少年育成課)

定員は最大 40 人で、去年は 34 人でした。参加費は皆さんお支払いいただいている状況です。

(園議長)

スタッフは支払わなくてもいけるようなシステムができないと引率者を確保することは難しいのではないかと思います。

(青少年育成課)

スタッフの参加費は課題但也有りますが、自分たちも学ぶところがありますので前向きな取り組みとして参加されています。

(園議長)

スタッフの参加費の全額支給は難しいのでしょうか。食費は交付金では出せないと思いますが、それ以外のところではどうでしょうか。

(江口委員)

スタッフとして参加する高校生や、大学生は指導等が大変で負担は大きいと思います。

(安部委員)

昨年、文化事業にも補助金が出てほしいという意見がありましたが、今年もないのでしょうか。

(事務局)

たしかに昨年度意見がありましたが、学校教育課のほうでは文化の補助金がありますので、詳細については、確認しておきます。

(2)古賀市の社会教育の現状について

(園議長)

先月の会議の内容より、「次の一步がなかなか進まない」という現状がありました。
みんふるやのネットワークの経過についてご存じのことがありましたら、坂崎委員からお願いします。

(坂崎委員)

笑顔のつどいの後、事務局のなかいわ整体院に本が集まってきていると聞いています。通学合宿で本棚を置き、活用できるのではないかと考えています。
古賀東中学校は、朝勉の時に結構子どもたちが本を読んでいるようです。

(園議長)

近くでみんふるやの本を置けそうな場所はどこかありますか。

(坂崎委員)

公民館はどうでしょうか。

(安部委員)

久保公民館は 2 階に本がありますが、おもちゃなどを置いて遊び場になっているため、本を読んでいる子どもはいません。おもちゃで遊んでいるため、難しいと思います。

(倉掛委員)

子育てサロンでは本を手取る人がいます。本を手に取りやすいような置き方も重要だと思います。

(梅谷委員)

地域文庫は有効でしたが、高齢化して停滞しているのが現状です。みんふるやのほうがマッチングすると思います。サロンの活動や地域食堂の中で本の貸し出しをすれば、維持できるのではないかと考えています。

(園議長)

その他活動についての課題や地域の現状についてご意見をお願いします。

(安部委員)

あったかくぼしょくどうは前は 60 人くらいの参加で、他の行事が重なっていたこともあり、前は目標人数よりは少なかったです。野菜を食べなかった子が、友達と楽しそうに会

話をしながら、苦手な野菜も完食していたと聞きました。活動を継続することに価値があると思います。

(坂崎委員)

町川原の食堂では、50人弱の参加があり、校区外からも来ています。SNS を見てきた人も多いです。

(梅谷委員)

基本的には地域の子どもたちが目的ではないが、地域外の子ばかりになると寂しく、そこが難しいと感じます。

(倉掛委員)

地域のために始めましたが、他の区の子ばかりになるとどうなのかなと思います。人数は50～60人くらいがちょうど良く、人数が多いと子どもたちの対応も大変です。参加される親からの要望も多くなっています。

(梅谷委員)

これが過渡期の課題で、最初は子どもと一緒に後片付けを行って自立を促していましたが、忙しいとお店のようになり、食の提供だけになってしまいます。

(藤田委員)

笑顔のつどいの意見交流の中でも参加者がお客さんのようにされていると聞きました。本当に支援が必要な方もいると思いますので、参加者も意識を変えていけたらと思います。

(大賀委員)

私たちも地域で食事を出すとき、自治会のお金をいただいています。ただ、子供たち同士のネットワークで呼びかけているため、他の区の子供たちが来ることも多いです。少し差をつけた方がいいのではないかという意見があります。私たちの地域では、校区外の子どもには100円をいただくということになっています。自治会の方からクレームもなく、子どもたちも100円を出していることを気にせずに楽しんでいる様子です。

(江口委員)

皆さんの意見は大変参考になりました。4月から花見小学校に異動になりましたが、通学路には裏道があり、児童の登下校を心配に思っています。5月23日(土)は花見小学校で運動会がありますので、是非お越しください。

(石川委員)

公民館の利用について公平さも必要ですが、他市の施設では、外部の方々に対しては大きく利用料金が上がるのが現実です。地域の利用者を優先するのはとても重要です。地域の財源で運営されているからこそ、厳しいのかもしれない。

(梅谷委員)

他地域からの参加であっても、地域活動を通じて、収入が増え、流動性も高まることで、皆が恩恵を受けるという意識を持つことができればと思います。

(安部委員)

昨年から社会教育委員の会議に参加していますが、これまでの会議の中で特に印象に残ったのは、「古賀市民は古賀でお金を落とさない」と「ふるさとづくり」そして、「地域で人を育てる」というフレーズです。古賀はどんどん寂れていって寂しいまちになっていると感じるため、「地域で育てていく」という自治会の役割や観念についてもう少し訴えていくことを考える必要があると感じています。

3. その他

(1) 各委員から

連絡なし

(2) 事務局から

- ・令和8年度年間活動計画について
- ・令和8年度社会教育委員活動報告書について

(3) 次回開催日程

6月 19 日(金) 18:30 ～ 会場： 大会議室

4. 閉会